

新課程用教科書紹介

令和4年度より、高等学校の新学習指導要領にもとづく教科書の使用が始まります。弊社では、家庭基礎3点、家庭総合1点を発行する予定です。弊社新課程用教科書の代表著者からのメッセージをお届けします。

日常生活の「あたりまえ」を問い直す 家庭科教科書

横浜国立大学教育学部 堀内かおる

1. 新型コロナウイルス感染症がもたらした影響

2020年11月現在、私たちは世界同時に蔓延している新型コロナウイルスの脅威に直面するという、いまだかつてない時代に生きている。コロナ禍が学校教育に及ぼした影響は甚大で、急激な社会状況の変化に伴って、学校現場における授業の在り方は見直しを余儀なくされてきた。

例えば、「児童生徒同士が近距離で活動する調理実習」は、特に感染リスクの高い活動とみなされ、実施が制限されて現在に至っている^[1]。調理実習は何のために行うのかといえば、単に調理技術の習得のみが目的ではない。調理実習は、食材をおいしく食べられるように工夫されてきた食の科学と文化に生徒が目を向けるきっかけとなる。さらに、食材に含まれる栄養素を効率的に摂取できる献立の考え方を知り、食生活に関する総合的な活用力を習得できる。生徒たちが自ら調理を家庭で行うようにするにはどうしたらよいか、家庭実践につながる学校での授業はどうあるべきか、改めて考えてみる必要があるだろう。

さらに調理実習は、皆で作って一緒に食卓を囲むという協働性を育む活動でもある。食は人と人とを結びつけるコミュニケーションの手段になる。今日の「新しい学校の生活様式」によって、従来の家庭科教育が大切にしてきた生徒同士のつながりを喚起する対話的な学びをどのような形で保障できるのか、教師の授業観が問われている。

2. これからの時代の家庭科教育

平成30年告示の学習指導要領では、改訂の趣旨として、Society5.0と呼ばれる今後の超スマート社会の到来に寄せて、AIが身近な存在となる未来が想定されている。同時に、グローバル化の進展によってボーダーレスな多文化社会の到来とともに、予測不可能で多様な価値観と向き合う時代の訪れが予見されている。このような近未来社会の担い手を育む教育は、常に現在進行形で、先を見て進んでいかなければならない。まして家庭科は、生活者として必要な知識と技術、価値観の形成を目指した教科書である。今までの生活習慣の中で無意識のうちに行われてきたことや、伝統文化として継承されてきたこと、社会の慣習として根付いてきたことなど、これらの「あたりまえ」だとみなされてきた事柄に対し、改めて目をとめて、「なぜそうなのか」と立ち止まって問い直してみたい。

家庭生活の在り方には、一つの正解があるわけではない。それぞれの家族・家庭の価値観の下で、その人（人々）なりの暮らしがある。その一方で、コロナ禍を生きる現在、「新しい生活様式」といわれる感染予防を念頭に置いた社会規範が示された。今しばらく私たちは、この「新しい生活様式」を前提としつつ、個性豊かなそれぞれの生活を創るにはどうしたらよいか、考えてみる必要があるだろう。これからの家庭科教育は、今を生きる生徒たちに、「よりよい生活」はどういう生活なのか、そしてそれはどのようにしたら実現可能なのかを問い、生徒一人一人が答えを見出していくための支援となるものであってほしい。

[1] 文部科学省（2020）学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～（2020.9.3 Ver. 4）

https://www.mext.go.jp/content/20200903-mxt_kouhou01-000004520_1.pdf 2020年11月3日アクセス

[2] 中央教育審議会（2018）『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）』

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/_icsFiles/fieldfile/2017/01/10/1380902_0.pdf 2020年11月3日アクセス

3. 家庭科教科書の役割

学習指導要領は、「学びの地図」にたとえられている^[2]。つまりそれは、これからの人生で出会う新しい局面に備えて、生徒が手に携えて考え、次の一歩を踏み出すための手掛かりとなるものである。そして、その学習指導要領に準拠して作成された家庭科教科書は、生徒が自分の生活と向き合い、一人の生活者としてこれからの人生を生きる力となる知識や技術を身に付けるためのガイドである。実教出版の新しい家庭科教科書は、いずれもこの生活者を育てる「学びのガイド」として、充実した内容となっている。

高等学校における家庭科の内容を詳細に取り上げている『家庭総合』、コンパクトに要点をまとめつつ深い思考を促す構成の『家庭基礎気づく力築く未来』、ビジュアルをより重視して分かりやすさを追求した『図説家庭基礎』というラインナップで、いずれも多様な生徒の資質やニーズに合わせた学習を可能にするだろう。

しかしあくまでも、教科書は、「教材」である。教材とは、ある事柄について学習者の理解を促すために用いられる素材なのであって、それをどう活用するかは、教師次第である。「教科書を教えるのではなく、教科書で教える」という言葉があるように、家庭科教師たちには、教材としての教科書を使いこなして、授業を行っていただきたい。そして、これからの時代を生きる生徒のために役立ち活かされるような授業が積み重ねられていくことを願っている。

「持続可能な未来に向かって」を考える教科書

弁護士 横山哲夫

●「21」の特長を継承した「Agenda 家庭基礎」

新学習指導要領に向けて編修した「Agenda 家庭基礎」は現行「家庭基礎 21」を継承する教科書である。21 シリーズは従来、生き方の多様性や消費者教育を重視し、著者に弁護士が複数参画している強みを生かし人権の観点を重視してきた。

また、家庭科に関する各分野において若者が社会に向けて問題解決を考えられるような方向性を示すこと、先駆的に環境問題を取り上げるなど、家庭科の教科書として従来にないスタイルを確立したこと

で高等学校現場から強いご支持をいただいている。

●新学習指導要領の改訂ポイント

新学習指導要領では SDGs や、主体的・対話的で深い学びが強調され、18 歳成年を背景に家庭科において消費者教育が重視されるようになった。消費者市民社会を掲げ、今では SDGs に包括されたさまざまな課題を重視してきた「家庭基礎 21」の編修方針が「21 シリーズ」発行約 20 年が経過して学習指導要領の内容と合致したことになる。

しかし、家庭科のどの教科書にも SDGs や課題解決の必要性が掲載されるとしたら、「Agenda 家庭基礎」の発行意義はどこにあるのだろうか？

●「Agenda 家庭基礎」の特長

「Agenda 家庭基礎」には、たとえば SDGs についての説明だけでなく、「持続可能な社会への歩み」として人権や環境に関する国際会議から MDGs へ、そして SDGs に至る資料を掲載し、国際的な動きとともに学習できるようにした。また、課題解決を多面的にとらえられるように、各テーマの冒頭に Q&A を入れたり、他の教科との関連を示す（カリキュラム・マネジメント）などに配慮したりする要素を取り入れた。「Agenda 家庭基礎」は「家庭基礎 21」からさらに内容面でも授業展開に資する面でも進化している。

●書名の意味するもの

Agenda＝アジェンダは、国連の SDGs の取り組み「2030 アジェンダ」から引用している。人権、環境、ダイバーシティ&インクルージョン（多様性の視点を持つこと）、倫理的で公正公平な取引など、様々な課題を問題提起している本教科書の性格を象徴している。

本教科書をどうか実際の授業で活用していただければ幸いである。

令和4年度用 実教出版の新課程用家庭科教科書



7実教 家基705 家庭基礎 気づく力 築く未来
AB判/258ページ/カラー

- ★生活の課題に気づくことから始まる教科書
- ★多彩な資料・Columnで幅広い授業に対応可能
- ★個人の自立からグローバルな話題までを扱い、国際的な視野を養うことができます。



7実教 家基706 Agenda 家庭基礎
B5判/216ページ/カラー

- ★時事的・社会的話題や資料が豊富
- ★SDGsや消費者教育の視点を重視
- ★考えをまとめる・話し合うなど、「主体的・対話的で深い学び」を実現できる実践活動



7実教 家基707 図説家庭基礎
AB判/238ページ/カラー

- ★基礎・基本を重視し、豊富な資料とていねいな解説でわかりやすさを重視
- ★日常生活と結びつけて考え、主体的・対話的で深い学びをめざした「深ぼりWORK」
- ★多彩なアプローチによる実践・実習題材で知識・技術が定着



7実教 家総703 家庭総合
AB判/282ページ/カラー

- ★生活の課題に気づくことから始まる教科書
- ★知識と技能の学習要素をバランスよくまとめました。
- ★個人の自立をめざし、すぐに役立つ内容が充実しています。

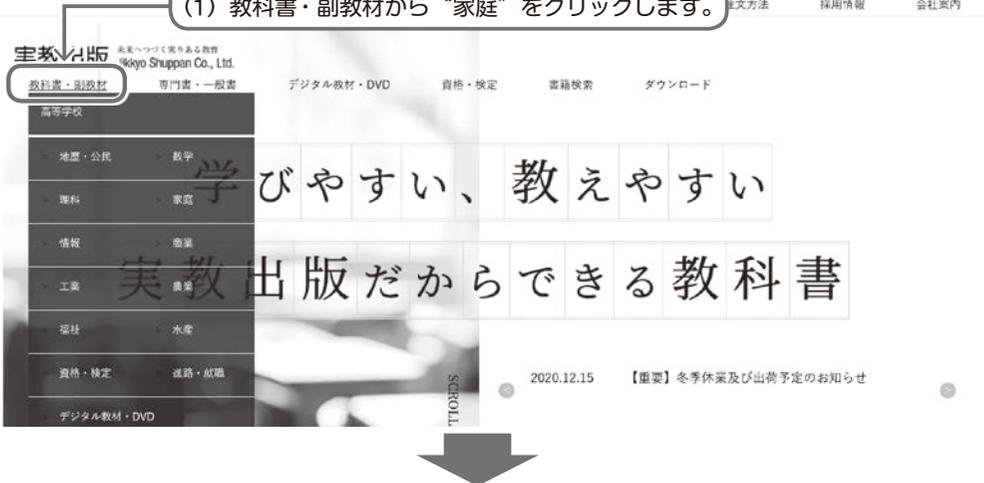
文部科学省著作教科書

7実教 家庭701 ファッションデザイン B5判/266ページ

じっきょう家庭科資料バックナンバーのご紹介

本冊子は弊社 Web ページより無料でダウンロードできます。
ご授業の参考や生徒さんへの情報提供にお役立てください。

(1) 教科書・副教材から“家庭”をクリックします。



実教出版 実業へつづく実りある教育 Jikkyo Shuppan Co., Ltd.
教科書・副教材 専門書・一般書 デジタル教材・DVD 資格・検定 書籍検索 ダウンロード

高等学校
 地理・公民 数学
 理科 家庭
 情報 商業
 工業 農業
 福祉 水産
 資格・検定 進路・就職
 デジタル教材・DVD

学びやすい、教えやすい
実教出版だからできる教科書

2020.12.15 【重要】冬季休業及び出荷予定のお知らせ

よくあるご質問 お問い合わせ 書籍購入・ご注文方法 採用情報 会社案内

実教出版 実業へつづく実りある教育 Jikkyo Shuppan Co., Ltd.
教科書・副教材 専門書・一般書 デジタル教材・DVD 資格・検定 書籍検索 ダウンロード

家庭科

HOME > 高等学校 教科書・副教材 地理・公民 理科 家庭科 > 家庭科

(2) 家庭科の下部に“じっきょう資料”がありますので、バックナンバーを選択します。

じっきょう資料

高校の先生方へ、各種情報や授業実践例、研究報告などを定期的に発行しています。

バックナンバー一覧 >

家庭科資料65号 (2020年9月25日発行)	家庭科資料64号 (2020年4月1日発行)
家庭科資料63号 (2019年9月25日発行)	家庭科資料62号 (2019年4月1日発行)
家庭科資料61号 (2018年9月14日発行)	家庭科資料60号 (2018年4月1日発行)